

救急～突然の事態に備えて

早い119番通報

早い心肺蘇生法

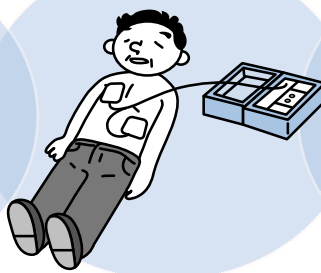
早いAED

早い医療処置



救急の現場

救急車出動



救急車が出動してから現場に到着するまで、平均6分弱。とっさの時に、あなたができること――

早く119番通報を

救急とは、「急病・けが・病気などの急場を救うこと」です。私たちは、いつ・どこで救急の現場に立ち会うことになるか分かりません。大切な「命」を助けるために勇気を持って行動しましょう。

まず必要なことは「すぐに119番通報すること」です。すべての119番通報は消防局の指令センターに入り、現場により近い消防署や出張所に出動指令を行います。通報のときに大切なのは、必要な情報を早く・正確に知らせることです。電話を受け付ける指令員は、次の内容を確認します。

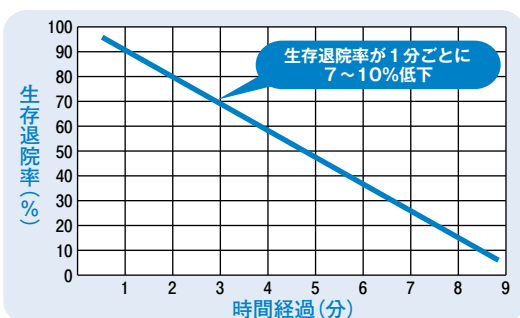
- 火事ですか、救急ですか？
- 住所はどこですか？
- 何(誰)がどうしましたか？
- あなたのお名前と電話番号は？

自宅でも気が動転してしまうと、住所や電話番号がとっさに出てこないこともありま。住所や電話番号を紙に書き、電話機のそばなどに張っ

救急車が来るまでに

ておくといいでしょう。また、通報の約三割は携帯電話からです。出先において住所が分からないときは、住居表示看板や目立った建物を伝えて現場を知らせましょう。

心臓や呼吸の停止が起これば、応急手当を受けずに放置された場合、生存率は時間とともに低下します。現在札幌市で救急車が現場に到着するまでに必要とする時間は平均6分弱です。救急車の到着を待っているだけでは、命を救うのは困難といえます。そばに居合わせた人の応急手当が重要になるのです。



心室細動の時間経過による生存退院率

市民の皆さまへ、救急隊からのお願い

救急車も限りある「資源」。大切に使いましょう



タクシーだとお金がかかったらしょう

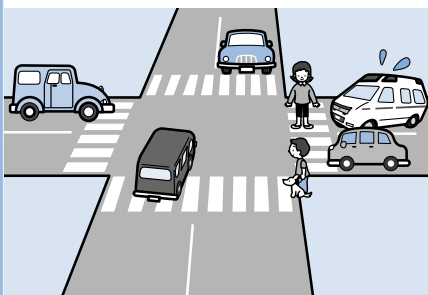
夜間や休日やってる病院に連れてって



入院先の病院まで

命に関わる傷病者の搬送に支障を来すことのないように、タクシー代わりの使い方はやめましょう。

救急車に道を譲ってください



サイレンが聞こえたら、自動車は左側に寄って停車、歩行者は交差点の横断をやめてください。

心肺停止の緊急時、AEDを搭載した「消防車」が行くことも。ご理解をお願いします



救急車がほかの現場へ出動中の場合は、救急処置の知識・技術を取得した消防隊員が消防車で向かいます。

・休日はこちら認

